



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No.4 6

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 FAX 0763-53-1334、(レイ・クリンギンスマス会長)

INASHORC@athena.ocn.ne.jp

2010-2011 年度 会長 山本武夫 、幹事 助田幸雄

2010-2011 年度 RI テーマ



「地球を育み、
大陸をつなぐ」

例 会 記 錄

第 1 5 7 7 回 例 会

平成 23 年 6 月 22 日(水)

井波文化センター第 1 研修室

1. 点鐘 会長
2. ソング 四つのテスト
3. 卓話ゲスト：長谷川俊治氏（長谷川吉美会員夫君）
4. ゲスト：中島眞市氏（マーシ園施設長）、長谷川総一郎氏



5. 会長の時間：私の年度も今日を含めあと 2 回となりました。会長の時間に何を話そうか、前よりもその日の新聞記事をよく読むようになりました。本日は、最後のわがままを聞いて下さい。今朝の北日本新聞朝刊には、いくつかの興味ある記事がありましたので紹介します。昨日の TV でもありましたが、飲み込み型内視鏡検査のカプセルに金魚の尾びれみたいなものをつけて、自由に動くようにしたそうです。実用化されれば、飲み込む時の苦しさから解放されるでしょう。次は、CO₂削減のために、草刈り機を使用せず、ヤギに雑草を食べさせようという取り組みを中央農業高校の生徒が始めたという記事がありました。次は富山大学の学生が、イタイイタイ病の研究調査の成果を 2

巻の冊子にまとめたそうで、来春開館予定の県立イタイタイ病資料館に寄贈したそうです。次は、音楽に関して、日本音楽財団は所蔵のバイオリンの名器「ストラディバリウス」をロンドンのオークションに出品し、約 12 億円で落札されたそうで、これを復興支援策として、寄贈する計画だそうです。次に、今年はウナギが高くなりそうです。不漁で、稚魚が急騰しているそうで、それでも土用の丑には、皆さんウナギでしょうから、小さくなるのを覚悟して下さい。次の健康に関して、糖尿病の方・予備軍はご注意を。血糖値をこまめに測り、体調管理をしっかりとして下さい。知らず知らずに悪化していく糖尿病、定期検査を欠かさず受けて下さいという記事、合併症に注意をして下さい。最後に、今日 1 番の記事です。「五濁の時代に 念仏の導き」と題して、木村宣彰という旧城端町出身の前大谷大学学長さんが、『足るを知る者こそ豊か』と、今の世こそ、親鸞の教えが大事と「今の時の道俗、己が分を思量せよ」と記事を書いておられます。東日本大震災に関連して特に原発事故には、果てしない人の欲望を戒め、「エネルギーとテクノロジー」を操って自然をも支配しようとする人間の「分」と「能」の過信を諫められた言葉と捉えられています。

さて本日は、その「東日本大震災後の被災地を訪れて」と題して、長谷川吉美会員と御主人の俊治氏に卓話ををお願いしました。後ほどよろしくお願ひします。

6. 幹事報告：①2011 年のロータリーレートは、1 \$ =

82 円です。②次週の最終例会は、年度の反省で、各委員長さん簡単な報告をお願いします。③例会変更が来ております。詳細は事務局に。④立山黒部アルペンルートの全線開通 40 周年キャンペーンの案内が来ております。

7. ニコニコBOX(本日 4 名 14000 円)

河合会員: 長谷川総一郎様、中島眞市様、ゲストでようこそ。中島様には入会して頂く予定です。息子夫婦は福野駅前で「眞太ラーメン」をしておられます。

山本会長①: 本日は卓話を、長谷川吉美さんと御主人の俊治さんにお願いしました。有難うございます。ゲストの長谷川総一郎先生、ようこそ。中島眞市様、これからお付き合いをさせて頂くことを楽しみにしております。

山本会長②: 末娘たちの富山北部高校女子が北信越剣道大会で 3 位になりました。応援していて大変興奮しました。

助田幹事: 本日は、ゲストで長谷川俊治さん、後ほど卓話をよろしくお願ひします。ゲストの長谷川総一郎先生、マーシ園の中島眞市様、ようこそいらっしゃいました。

荒木 SAA: 特になにもありませんが、少し気温が上がって具合が悪くなりそうです。体調管理に気をつけて下さい。

8. 出席委員会報告 : 18 名中 12 名出席 (調整後 70.59%)



卓話「東日本大震災後の被災地を訪れて」 長谷川俊治氏・長谷川吉美会員

長谷川俊治氏: 今回の東日本大震災に、思いがけずも

ペットに対する支援が目的で、被災地の方へ行くことになり、その話をさせて頂きます。



3月 11 日に起きた東北地方中心の大地震に、初めは皆さん同様大変びっくりしました。福島や会津若松は何度か行ったことがあります、父方は山形出身ということもあります、地震・津波・放射能という被害の状況を見て、ペットを助けたいという思いが湧いてきました。ネットで、その思いを告げ、どうして近づくことができるかと、配信したら、いろんな情報が集まり、掲示板でペットに対する支援を呼びかけたら、支援物資が、店に一杯集まってきた。どこから情報がいったか、動物愛護の団体から、支援の情報が来たり、TV局からの取材も来て、東北へ実際に行かざるを得ない羽目になってしまいました。【吉美氏補足 : TV局の取材で、妻と一緒に行くと答えたものだから、私も行くことになりました。ペットショップ大手(手取フィッシュランドさん)などからも支援物資がきて、1t車に1杯になり、トラックを借りていくことになりました。燃料の軽油も積んで行きました。】



車に積んだ支援物資



震災から2週間後に被災地につきましたが、想像以上に被害がひどく、広い東北なので何もなくなってしまっている範囲が目立ちました。着いて、支援をしようにも行政が混とんとして、現実的にどこに支援物資をおろしていいかさえ、わからない有様でした。福島県境の宮城県亘理町と山元町に行きましたが、個人は避難しているし、行政関係者はどこに窓口があるかもわからず、全国からの自衛隊関係者のみという感じでした。夜も昼も音の無い世界で大変不気味でした。



到着直後は、ガソリンなどの燃料不足で、持参した燃料が一番有難がられました。避難所になっている体育館などを訪れて、ペットの事が心配でしたが、最初はそれどころではありませんでした。当時は、遺体捜索が中心で、被災地を通っても、考えられないような光景がいっぱいありました。車が何回も回転してボール状になったり、考えられない所に家が逆さまにたっていました。



【吉美さん補足】保健所へのペット支援の申し込みをしても、犬は個人の財産なので、難しい問題がありました。ようやく5月の連休頃に、ペットの救援救護ネットワークができました。そうして3カ月たった今、国や県の救護支援体制が整ってきました。そのニーズも段々細かく具体的になってきました。ゲージ(籠)がほしい、ノミやダニ用の薬品がほしいなど。

現地で保護される犬も、大型犬や中型犬の雑種が多く生き残ったようで、小型犬は生き残っても飢餓に負けたようです。そして大半がフィラリアに罹っています。向うから里親で引き取ろうとしても、現在は放射線計で測定され、引っかかると連れて来れません。(長谷川さんところでは、現在1匹を保護して預かっているそうです。犬より猫はまだ、生き残る確率が高いそうです。)】

・・・長谷川さん、大変お疲れさまでした。実際に現地に向かわれて、ボランティアで支援活動をされて、会員一同敬服いたしております。大半の方が、支援物質を送ってもらうように、こちらの役所にお願いしたり、あるいは募金活動に参加したりする程度ですが、行動に移すとなるとなかなか勇気がいります。東日本大震災は、これから長期にわたる支援活動が必要です。また、私たち井波庄川ロータリークラブ会員にも、今後お手伝いが出来ることがありましたら、ご指示下さい。(山本註)

